

戦略的研究から地域連携への展開に向けて

研究公開フォーラム

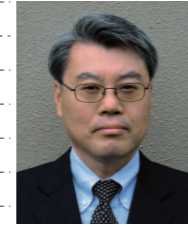
2011

ごあいさつ

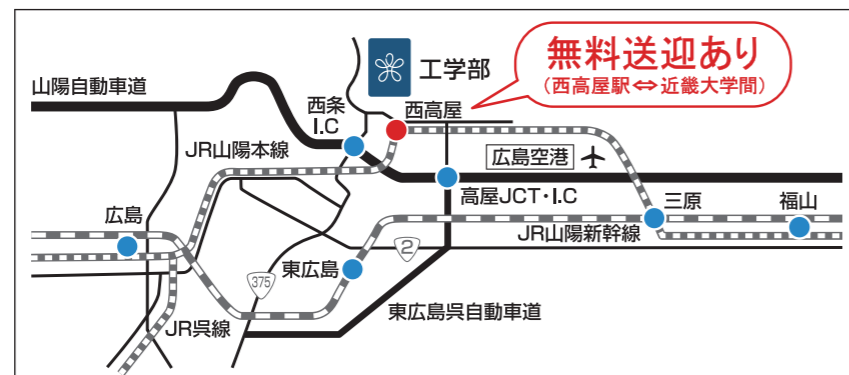
平素より近畿大学工学部にご支援・ご協力賜り誠に有難うございます。

さて、近畿大学工学部では、昨年4月に地域連携の強化と研究機能の強化を目的に、工業技術研究所を改組して、あらたに「次世代基盤技術研究所」を開設いたしました。組織は、地域連携を強化するための「社会連携センター」と分野横断的な研究者チームによる4つの研究センター、「自動車技術研究センター」、「建築環境研究センター」、「バイオ工学研究センター」ならびに「サービス工学研究センター」で構成し、各分野における研究を推進しております。また、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「地域連携による次世代自動車技術の研究」により大型設備を導入し、研究拠点としての体制も整い、地域をあげた連携とご協力のもとに戦略的研究プロジェクトに取り組んでおります。さらに、地域との連携を深めるために大きな役割を果たして頂いております「工学部産学官連携推進協力会」との連携も強化しており、企業との共同研究、社会人リカレント講座の開講などを積極的に実施しております。このように、次世代基盤技術研究所を中心に地域産業のイノベーション創出に寄与すべく産学官連携を推進しております。

今回の研究公開フォーラムでは、「工学部産学官連携推進協力会」との共催により特別講演会として、SWdesign TOKYO 代表 和田 智氏をお迎えして「未来のつくりかた | EV で変わる暮らし」と題する講演をお願いしております。また、「地域連携による次世代自動車技術の研究」における成果発表や次世代基盤技術研究所と構造実験棟および実験住宅の施設見学を予定しております。この研究公開フォーラムが、ご参加頂きました皆様にとりまして有意義な場となることを念願しております。



平成 23 年 10 月
近畿大学工学部長
京極 秀樹



- ACCESS ● JR広島駅から山陽本線約35分「西高屋」駅下車後、徒歩で約20分またはバスで約5分
● 広島バスセンターから芸陽バス（JR広島駅・高速経由）高美が丘・豊栄方面「近畿大学」下車（約50分）
● 山陽自動車道「西条 I.C.」から車で約12分、または「高屋 JCT・I.C.」から車で約7分
● 広島空港から車で約25分

近畿大学工学部
近畿大学次世代基盤技術研究所
近畿大学大学院システム工学研究科
近畿大学工学部産学官連携推進協力会

〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1番
TEL (082)434-7000 (代表) FAX (082)434-7020
※お電話またはFAXを頂く際は、市外局番が同一の地域でも「082」からおかけください。
http://www.hiro.kindai.ac.jp/ E-mail:riit@hiro.kindai.ac.jp

10月31日(月)

13:00 ~ 17:30 **入場無料**
(交流会 17:30 ~ 19:00)

近畿大学工学部
多目的ホール/メディアセンター
(東広島市高屋うめの辺1番)

[主 催] 近畿大学工学部、近畿大学次世代基盤技術研究所、近畿大学大学院システム工学研究科、近畿大学工学部産学官連携推進協力会
[後 援] 中国経済産業局、広島県、広島市、東広島市、呉市、福山市、中国経済連合会、広島商工会議所、東広島商工会議所、呉商工会議所、福山商工会議所、(公財)ちゅうごく産業創造センター、(社)中国地域ニュービジネス協議会、(公財)ひろしま産業振興機構、(財)広島市産業振興センター、(財)くれ産業振興センター

お問い合わせ・お申込みは
近畿大学工学部

〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1番
TEL (082)434-7000 (代表) FAX (082)434-7020
※お電話またはFAXを頂く際は、市外局番が同一の地域でも「082」からおかけください。
http://www.hiro.kindai.ac.jp/ E-mail:riit@hiro.kindai.ac.jp

プログラム

13:00	主催者挨拶 工学部長 近畿大学工学部産学官連携推進協力会会長	京極 秀樹 岸田 正之	多目的ホール
13:10	来賓挨拶 中国経済産業局長	井辺 國夫 氏	
13:20	特別講演 「未来のつくりかた EVで変わる暮らし」 カーデザイナー/プロダクトデザイナー SWdesign TOKYO 代表 和田 智 氏		
14:40	ポスターセッション (パネル展示は17:30まで)		メディアセンター ロビー
15:30	戦略的研究プロジェクト報告 「地域連携による次世代自動車技術の研究」 ① ドライビングシミュレータを活用した人間工学的研究 機械工学科 准教授 樹野 淳也 ② 自動車インテリアの質感評価 次世代基盤技術研究所 特別研究員 米原 牧子 ③ 自動車の空力特性に関する新たな評価 ～非定常モード下における過渡特性～ 機械工学科 教授 角田 勝		メディアセンター マルチメディア 講義室
16:30	施設見学 次世代基盤技術研究所, 構造実験棟, 実験住宅		パネル展示
17:30	交流会 (会費無料)		Café 樺辺

特別講演 13:20～14:40 (多目的ホール)

「未来のつくりかた | EVで変わる暮らし」



カーデザイナー/プロダクトデザイナー
SWdesign TOKYO 代表
和田 智 氏

講師紹介: 1961年東京生まれ。武蔵野美術大学卒。1984年日産自動車入社。シニアデザイナーとして、初代セフィーロ(1988年)、初代プレセア(1989年)、セフィーロワゴン(1996年)などの量産車を担当した。1989～1991年、英国ロイヤル・カレッジ・オブ・アート留学。日産勤務時代最後の作品として電気自動車のハイパーミニをデザインした。1998年、アウディAG/アウディ・デザインへ移籍。シニアデザイナー兼クリエイティブマネージャーとして、現行のAudi A6、Audi Q7などの主力車種を担当した。アウディのシンボルとも言えるシングルフレームグリルをデザインし、その後「世界でもっとも美しいクーペ」と評されるAudi A5を担当した。そのほかAudi Pikes Peak Quattro、Audi Avantissimoなどのショーカーも担当した。2009年6月アウディから独立。自身のデザインスタジオ「SWdesign TOKYO」を設立した。独立後は新しいビークルデザイン開発に力を注ぐ一方、カーデザインにとらわれず、ドイツでの長きにわたるデザイン活動を生かし「新しい時代のミニマルなものの暮らし」をデザイン提案していく。

SWdesign TOKYO | Homepage <http://www.swdesign-office.com/>
 SWdesign TOKYO | Twitter <http://twitter.com/SWdesignTOKYO>

パネル展示 14:40～17:30 (メディアセンター)

パネルNo.	出 展 者	展 示 テ ー マ
材料・加工	A-1 京極 秀樹, 広島県立総合技術研究所(寺山 朗)	粉末プロセスによる生体用Ti基形状記憶合金の開発
	A-2 生田 明彦	新摩擦攪拌接合ツールによる塑性流動
	A-3 白石 光信	・中実材およびフィン付薄肉中空材の自在曲げ押出成形技術 ・サーボプレスによるボス・リブ・フランジ付マグネシウム合金薄肉筐体の鍛造成形技術
	A-4 上森 武	Yoshida-Uemoriモデルを用いた高速高精度プレス成形解析ツールの開発
	A-5 旗手 稔, 信木 関, 滝元 弘樹 ^{M2}	低熱膨張球状黒鉛鋳鉄の熱膨張特性
	A-6 旗手 稔, 信木 関, 烏谷 豪 ^{M2}	高強度球状黒鉛鋳鉄の衝撃特性
	A-7 信木 関, 旗手 稔, 金川 昌平 ^{M2}	粉末冶金法を用いたMg系材料の創製
	A-8 井原 辰彦, 勝田 将人 ^{M1}	低温プラズマ診断用インジケータの開発
機械システム・ロボティクス	B-1 竹原 伸	車両運動性能の向上とカーエレクトロニクスの開発
	B-2 中村 一美	自動車室内における快適性に関する基礎研究
	B-3 玉木 伸茂	高効率直接噴射式ディーゼル機関用微粒化促進ノズルの開発
	B-4 角田 勝	可視化技術による流れの解明と産業機器への応用
	B-5 樹野 淳也	環境保全型農業を実践する農作業ロボットの開発
	B-6 黄 健	実環境における重さ知覚と上肢運動の測定
	B-7 友國 伸保	倒立二輪機構を用いたパーソナルモビリティロボットの開発
	B-8 柴田 瑞穂	テンセグリティ構造を用いた多面体移動ロボット
情報通信・ソフト	C-1 谷崎 隆士	科学的・工学的手法を用いたサービス産業の生産性向上
	C-2 片岡 隆之	ベイジアンネットによる熟練操作推論技術とその応用研究
	C-3 加島 智子	都市型農作物直売所におけるトレーサビリティシステムの環境構築
	C-4 松富 達夫, 木村 有寿, 大谷 崇, 坂根 章浩 ^{M2}	競合的施設配置問題とレイアウト問題の効率的解法
	C-5 木村 有寿, 大谷 崇, 松富 達夫	高効率混合品種ラインの設計法
	C-6 田中 一基	エクサゲーミング技術の研究
	C-7 中島 弘之, 堀岡 敬志 ^{M2}	復元力項で結合した位相振動子系のダイナミクス
	C-8 藤本 暢宏, 上野 良太 ^{M2} , 望月 輝 ^{M2}	照明光通信技術による音声伝送
	C-9 出口 幸子, 植木 大介 ^{M2} , 高木 章宏 ^{M1}	順序回路の学習支援システムに関する研究
	C-10 辻田 祐一, 吉永 一美, 六車 英峰 ^{M2}	ポストペタスケールに向けた並列入出力の高速化
	C-11 藤野 貴之, 幸地 真 ^{M2}	P2P技術を使用したDNSSEC検証補助の実装と測定
	C-12 伊藤 昭夫	数理による複雑現象の予測とそれに基づく現象の可視化
環境・エネルギー	D-1 在永 未徳	外断熱型壁式ハイブリッド住宅の開発
	D-2 崔 軍	居住者の温冷感を考慮した空調負荷計算法に関する研究
	D-3 市川 尚紀	太陽熱・雨水・地中熱による自然冷暖房システムの研究
	D-4 竹中 啓恭	燃料電池・水電解など固体高分子電解質を用いた電気化学プロセスの研究
	D-5 田端 道彦	高効率燃焼に関する研究, 省エネルギー燃焼～水素・バイオガス燃焼技術
バイオ・人間生活	E-1 山田 康枝, 重森 健介 ^{M2} , 中西 慧 ^{M2} , 増田 修一 ^{M2}	日本酒・焼酎に含まれる有効成分
	E-2 野村 正人, 岡田 芳治, 沖田 真理, 河相 春奈, 西本 有貴, 日本フィトンチッド(株)(三原 安経)	フィトンチッド液の抗菌活性および急性経口毒性について
	E-3 山本 和彦, 友澤 勇二 ^{M2}	メタボリックシンドロームの発症分子機構の解明をめざして
	E-4 渡邊 義之	生物資源の食品素材としての効果的利用
	E-5 西村 公伸	オーディオ機器の雑音低減技術
	E-6 藤井 大地	建築骨組構造の形状最適化に関する研究
	E-7 大田 和彦	組積型コンクリート耐震壁の提案
	E-8 森村 毅	高アルカリCaイオン水を用いたモルタル及び漆喰の最適配合に関する研究
	E-9 松田 博幸, 津田 英明 ^{M1} , 川原 崇寛 ^{M1}	東南アジアの水上住宅のつづらえと空間構成
会員企業	F-1 (株)石井表記	グラフィカルな画面を簡単に構築できるツール HMI Development Tool
	F-2 柿原工業(株)	柿原工業の『次世代めっき技術』
	F-3 カワソーテックセル(株)	メタライズ・ブレイジング技術
	F-4 (株)建築舎ゆわんと村	瀬戸漆喰
	F-5 (株)呉英製作所	エアサンダー集塵システム
	F-6 (株)サタケ	米の品質評価に使用される装置の展示と実演
	F-7 マツダ(株)技術研究所	バンパーtoバンパーリサイクル技術
関係機関	F-8 (独)産業技術総合研究所 中国センター	(独)産業技術総合研究所中国センター研究紹介
	F-9 (公財)ひろしま産業振興機構	カーエレクトロニクスの取組み
	F-10 (財)くれ産業振興センター	カルシウムイオン水開発事例
	F-11 東広島市 新産業創造センター	コラボスクエアの紹介
特許	G 工学部教員の発明による出願特許紹介	

注) M1:近畿大学大学院システム工学研究科博士前期課程1年 M2:近畿大学大学院システム工学研究科博士前期課程2年